



左・榎木裕明さんと盲導犬マーベル
右・穴水泰子さん(生活支援ボランティア)



「ともにダンス」の動画撮影風景



左・文屋彩乃さん、右・岩浪茜さん

目次 CONTENTS

| 特集 |

1・2 共生のまちづくり

3 にいがたCITY NOW
●新潟市の財政状況

4 ●議会臨時会・定例会開会
●八区魅力発見⑩
～中央区編～
●市スポーツ大賞を贈呈
●市政世論調査まとまる

5 連載
STOP! 感染拡大
輝く高校生
公共施設を考える

他3ページは区役所より「情報ひろば」は別冊で発行しています

障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちへ

共生のまちづくり

12月3日～9日は障害者週間です。

新潟市では「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を定め、障がいの有無にかかわらず共に生き、互いを尊重して支え合い、誰もが安心して暮らせるまちを目指しています。

新潟市民の約19人に1人が障がい者手帳を持っているほか、さまざまな理由で日常生活で困っている人がいます。ほんの少しの気遣いが、困り事を解決する大きな力になります。できることから始めてみませんか。

問 障がい福祉課 (☎025-226-1238、FAX025-223-1500) ※関連記事を別冊情報ひろば3面に掲載

POINT ① 少しの気付きを行動に移そう

GOOD! ① バスなどの席を譲る



ヘルプマークやマタニティマーク=2面参照=を着けている人や高齢者などに席を譲りましょう。

GOOD! ② 視覚障がい者誘導用ブロックの上を空ける

自転車や物があると視覚障がい者がぶつかったり、白杖が折れたりして大変危険です。



🔊 視覚障がい者の声

音の出ない信号機は渡るタイミングが難しいです。信号が青になっても渡らない人がいたら、声を掛けてもらえるとうれしいです。
体や白杖、盲導犬には触らず、前方から近づいて声を掛けてください。



榎木裕明さん
(にいがた・盲導犬ハーネスの会 会長)

GOOD! ③ 多目的トイレの利用は短時間で



オストメイト(内臓疾患患者)や車いす使用者など、設備や条件が整わないと排せつ行為をできない人のため、短時間で利用しましょう。

GOOD! ④ マスクを外せないときは筆談する

聴覚障がい者と話すときは、口元を見せましょう。
マスクを外せないときは、スマートフォンのメモ機能などを活用しましょう。



GOOD! ⑤ 車いす使用者に配慮する

車いすは3cmほどの段差でも進めません。
助けが必要かどうか、声を掛けてみましょう。

